

市議会第3回定例会で令和3年度の一般会計、特別会計および企業会計の決算を報告し、それぞれ認定されました。市民のみなさんに納めていただいた税金などがどのように使われたか、概要をお知らせします。
※市民一人当たりの金額は令和4年4月1日現在の人口(38,048人)で算出しています。

問 市 財政契約課 ☎53-5165 FAX 53-5148

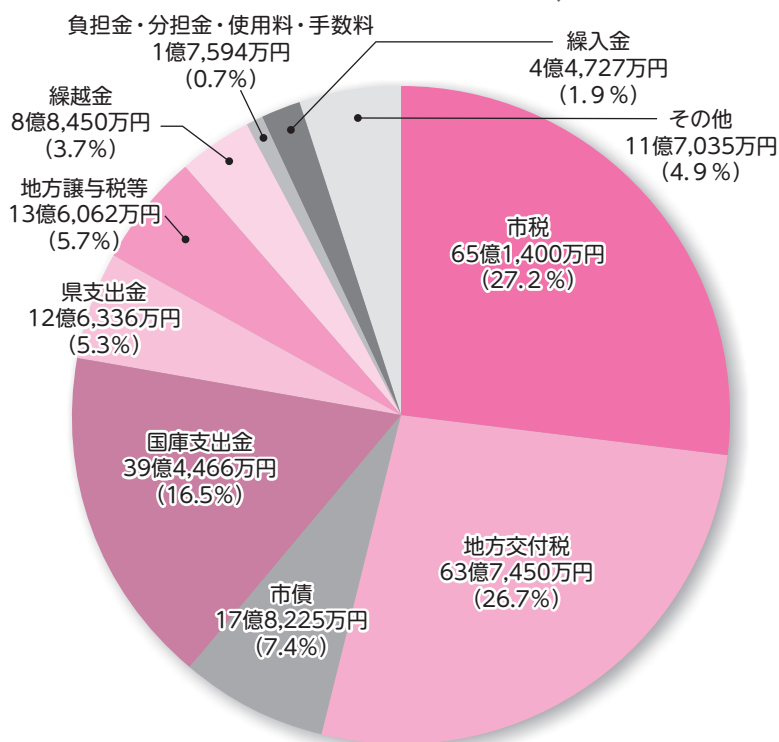
福祉、教育、公共施設の整備など市の基本的な事業を行うための会計です。

Point

コロナ対策や連絡通路の整備などにより、歳入歳出とも合併以来2番目の決算規模となりました。

歳入総額 239億1,745万円

■前年度比 58億3,012万円 減



市税

市民のみなさんに納めていただいた税金で、市の収入の約3割を占める最も重要な収入源です。

■前年度比 3億2,498万円 増

地方交付税

地方交付税のうち約9割を占めるのが普通交付税で、全国どこでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国から交付されるお金です。

■前年度比 6億3,401万円 増

市債

施設や道路の整備など多額の資金が必要な場合に国や金融機関から借り入れるお金です。

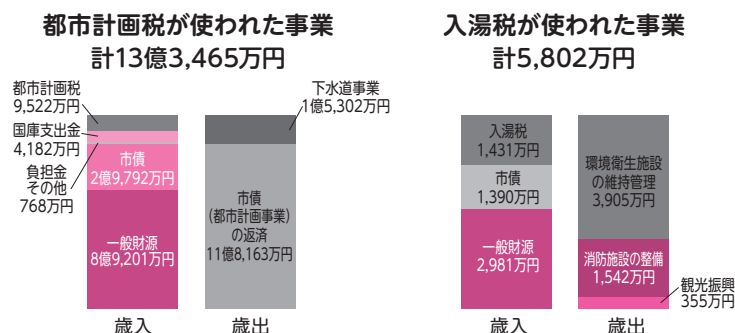
■前年度比 34億6,690万円 減

市税のこと

市税内訳	決算額
個人市民税	19億4,388万円
法人市民税	4億9,809万円
固定資産税	35億7,919万円
軽自動車税	1億4,920万円
市たばこ税	2億2,892万円
鉦産税	519万円
入湯税	1,431万円
都市計画税	9,522万円
合 計	65億1,400万円
(内訳) 現年課税分	65億1,009万円
(内訳) 滞納繰越分	391万円

みなさんに収めていただいた税金の決算額は、

市民一人当たり
約17万1千円



Pick Up 入湯税と都市計画税

市税のうち、使い道が決められているのが入湯税と都市計画税です。入湯税は環境衛生施設の維持管理や消防施設の整備等に、都市計画税は下水道事業や都市計画事業の借金返済費に使いました。



特集 令和3年度決算で見る 米原市のお金の使い道



一般会計の決算状況

民生費

子どもや障がい者、高齢者のために使うお金です。放課後児童クラブや子育て支援センターの運営等に使いました。

■前年度比 12億6,757万円 **増**

教育費

幼稚園、小中学校の維持や文化・スポーツ振興のために使うお金です。学校教育施設の長寿命化に向けた工事費等に使いました。

■前年度比 1億6,594万円 **減**

土木費

道路の新設改良工事や橋りょう維持管理等に使いました。

■前年度比 1億2,613万円 **減**

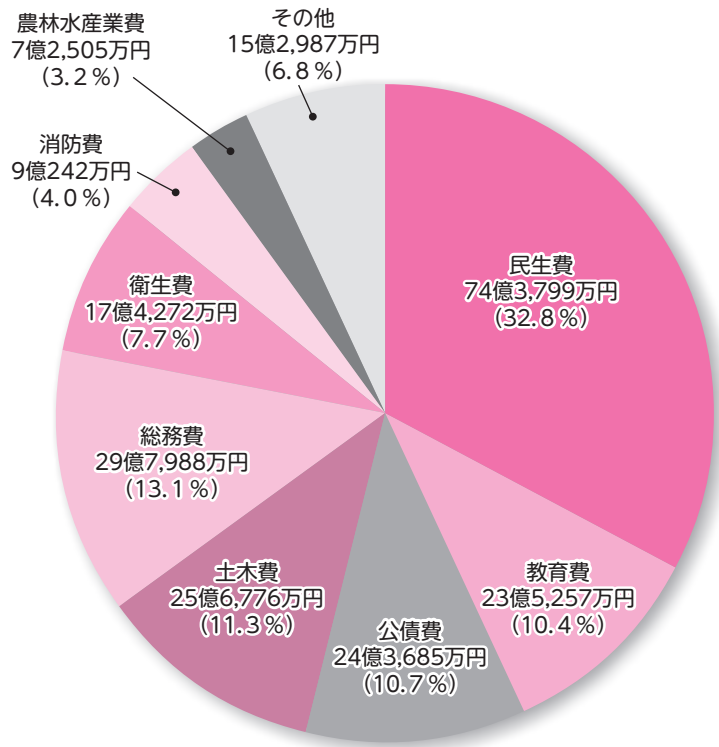
総務費

市政の運営や自治会、まちづくりのために使うお金です。連絡通路の整備、交通安全対策や自治会等の振興に使いました。

■前年度比 68億3,308万円 **減**

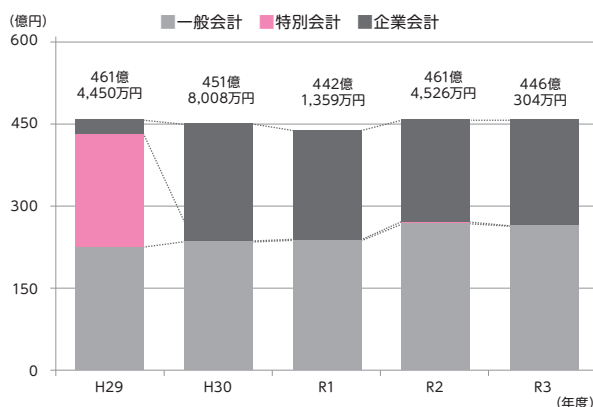
歳出総額 226億7,511万円

■前年度比 61億8,796万円 **減**



借金と貯金

借金(市債)

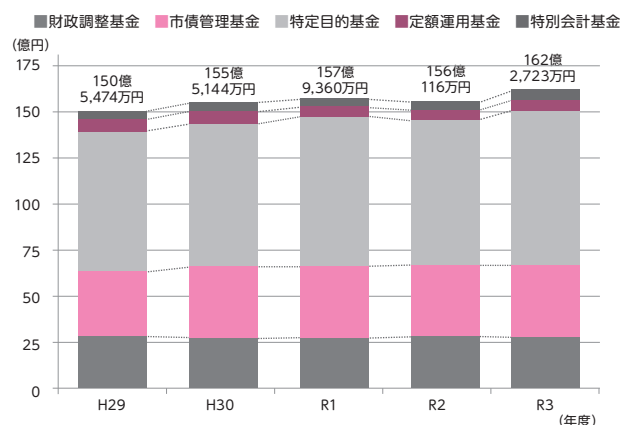


期限前に返済したこと等により令和2年度から15億4,223万円減少しました。

※返済金の一部が地方交付税で補てんされる有利な市債を優先して借入を行っています。

市民一人当たり
約117万2千円

貯金(基金)



公共施設等整備の積み立て等により令和2年度から6億2,607万円増加しました。

市民一人当たり
約42万6千円

令和3年度 歳出決算額と主な事業

民生費

市民一人当たり
約19万5千円

子どもや障がい者、高齢者のために

自立支援給付事業	11億2,220万円
福祉医療助成事業 〔乳幼児や障がい者、小中学生などの医療費の助成〕	2億6,424万円
高齢者生きがい支援事業 〔老人クラブ・シルバー人材センター活動支援ほか〕	2,223万円



病児・病後児保育室「おおぞら」の運営▲

教育費

市民一人当たり
約6万2千円

幼稚園、小中学校の施設管理や
文化・スポーツ振興のために

小中学校施設整備事業 〔双葉中学校長寿命化改良工事ほか〕	4億3,276万円
図書館管理運営事業	5,681万円
スポーツ推進事業 〔各種スポーツ団体活動支援、ホストタウン推進ほか〕	3,786万円



双葉中学校長寿命化改良工事▲

土木費

市民一人当たり
約6万7千円

道路や河川の整備、除雪などのために

除雪事業	4億1,886万円
道路新設改良事業	1億9,258万円
公共下水道維持管理事業 〔公債費等の負担、経営支援〕	12億469万円



市道顔戸八田羽織線道路改良工事▲

特別会計・企業会計の決算状況

特別会計と企業会計は、特定の収入(保険料や使用料など)により特定の事業を行うため、一般会計と区分している会計です。

特別会計

特別会計名	歳入	歳出	収支差引額
国民健康保険事業	35億1,053万円	35億114万円	939万円
介護保険事業	45億739万円	42億8,408万円	2億2,331万円
後期高齢者医療事業	5億752万円	4億9,856万円	896万円
駐車場事業	920万円	841万円	79万円
合 計	85億3,464万円	82億9,219万円	2億4,245万円

企業会計 ※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は損益勘定留保資金等で補てんしました。

会計名	区 分	収 入	支 出	収支差引額
水道事業	収益的収支	8億3,550万円	7億9,549万円	4,001万円
	資本的収支	3億3,242万円	3億8,057万円	▲4,815万円
下水道事業	収益的収支	22億1,865万円	20億3,235万円	1億8,630万円
	資本的収支	11億5,659万円	19億4,854万円	▲7億9,195万円

*収益的収支…日常の経営活動に使われるお金

*資本的収支…施設の建設や設備投資に関わるお金
(将来の経営活動の基本となり、収益に結びついていくもの)

市の財産の状況

令和3年度末の現在高と令和3年度中の増減をお知らせします。

土地 1,883,890㎡ (789㎡増)	建物 217,179㎡ (1,042㎡減)	商標権 7件 (増減なし)	有価証券 1,224万円 (500万円増)	出資による権利 2億1,284万円 (増減なし)	物品 454点 (8点減)	債権 6億946万円 (1,008万円増)
-----------------------------	-----------------------------	---------------------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------	-----------------------------

消防費

市民一人当たり
約2万4千円

消防や火災予防、災害対策のために

湖北地域消防組合事業 〔湖北地域消防組合運営費負担金ほか〕	6億2,204万円
消防施設整備事業	4,432万円
災害対策事業	1億2,039万円



消防積載車の更新配備▲

総務費

市民一人当たり
約7万8千円

市政の運営や自治会、まちづくりのために

連絡通路整備事業 〔建築工事監理業務委託、建築工事ほか〕	1億7,439万円
自治会等振興事業 〔まちづくり活動推進事業、自治会コロナ対策支援ほか〕	7,956万円
公共交通対策事業 〔コミュニティバスおよびコミュニティタクシーの運行〕	1億2,165万円



連絡通路の整備▲

他にも...

衛生費

健康診査やがん検診など、
健康長寿を目指して

■健康診断事業 3,493万円
〔生活習慣病健康診査、がん検診ほか〕

商工費

■商工振興事業 1億7,839万円
〔コロナ対策市内事業者支援事業、工場等設置促進ほか〕

農林水産業費

■鳥獣対策マスタープラン事業 7,771万円
〔獣害対策に取り組む地域への支援ほか〕

公債費

市の借金返済のために

市民一人当たり
約6万4千円

令和4年度上半期の予算執行状況

(4月1日～9月30日)

9月末で令和4年度も半年が経過しましたので、予算の執行状況をお知らせします。(令和3年度からの繰り越し含む)

区 分		予 算 額	収入額 (収入率)		支出額 (執行率)	
一般会計		221億6,057万円	110億1,301万円	(49.7%)	88億5,151万円	(39.9%)
特別会計	国民健康保険事業	32億9,950万円	13億1,440万円	(39.8%)	13億9,554万円	(42.3%)
	介護保険事業	44億2,959万円	20億8,238万円	(47.0%)	17億8,083万円	(40.2%)
	後期高齢者医療事業	5億2,720万円	1億8,170万円	(34.5%)	2億2,717万円	(43.1%)
	駐車場事業	830万円	646万円	(77.8%)	166万円	(20.0%)
	小 計	82億6,459万円	35億8,494万円	(43.4%)	34億520万円	(41.2%)
合 計		304億2,516万円	145億9,795万円	(48.0%)	122億5,671万円	(40.3%)

区 分			予 算 額	収入額・支出額	収入率・執行率
企業会計	水道事業	収益の収入	8億6,129万円	3億2,799万円	38.1%
		収益の支出	7億9,876万円	2億2,450万円	28.1%
		資本の収入	6億8,819万円	8,842万円	12.8%
		資本の支出	9億4,242万円	7億8,120万円	82.9%
	下水道事業	収益の収入	22億3,426万円	11億872万円	49.6%
		収益の支出	20億4,052万円	2億5,601万円	12.5%
		資本の収入	13億2,588万円	3億1,322万円	23.6%
		資本の支出	20億9,272万円	9億97万円	43.1%